

大阪府立西浦支援学校 令和元年度 第2回学校運営協議会（記録）

日 時：令和元年11月26日（火）10:00～12:00

出席者：協議会会長：加藤 美朗（関西福祉科学大学）
協議会副会長：今西 智奈美（大阪市職業指導センター 所長）
協議会委員：長谷川 裕明（羽曳野市立西浦小学校 校長）
石本 悦二（支援センター はる センター長）
渡邊 亜弓（西浦支援学校PTA委員）
校 長：古川 綾子
准 校 長：松浪 啓介
事 務 局：教頭（齋藤 沖間） 首席（江頭 河井 三宅 渡邊）
報 告 者：支援進路部長（倉木）

1 開会

(1) 定足数確認

（午前10時00分現在）学校運営協議会委員総数：6名 出席：5名（松原委員が欠席）よって、本運営協議会が成立した。

(2) 校長より開会のあいさつ

今回の事案についての説明とお詫びを行い、各委員からご意見をお聞きした。

- ・自分の想いを伝えることが困難な児童生徒を指導するのはとても難しい。保護者との連携を密にすることが大切である。教員に対する指導で教員自身が児童生徒の気持ちに気付くことも大切であるが、保護者自身も勉強することで家庭と学校で児童生徒を共通して理解することができると感じた。
- ・小規模な学校であっても教員間の連携は大変である。情報の共有と抱え込まないことを大切にしている。規模の大きい西浦支援学校ならなおさら大変であろうと感じている。研修も大事だが子どもにどう寄り添うか、大変であると思うが頑張りたい。
- ・教員同士のつながり、支えあいが重要である。障がいのある児童生徒と接しているという気持ちを常に持つておく必要がある。
- ・アンガーマネジメント、ストレスマネジメントが重要である。一人ひとりに違うニーズのある児童生徒と接するのは難しい。府が出している冊子にチェック表があるが、機会を設けてセルフチェックしてみてもどうか。具体的なアセスメントができて、どういう対応をしたら良いのかも載っているので参考にしてみればよいのではないかと。
（委員一同 その他特段の質問、意見なし）

2 協議（今回は委員の方が途中退席する可能性があったため協議より開始）

- ・『令和元年度 学校教育自己診断の項目』について
本来であれば学校運営協議会でのご意見を含め、学校運営委員会の後に実施していたが、今年度の学校運営協議会の実施時期が学校今教育自己診断の実施後なので項目の改善点について首席（江頭）より説明し、その点について意見を求めた。
○毎年細かくチェックしており、年々改定重ねている。今回はそれをより分かりやすい形に並べ替えられたと思う。捉えにくい文言の訂正、不要項目の削除などを行っており良い。
（委員一同 その他特段の質問、意見なし）
- ・意見書について
保護者から提出された意見書について説明。
○管理職から保護者へ直接連絡し丁寧に説明し対応するように委員から意見が出された。
（委員一同 その他特段の質問、意見なし）

休憩時に本校にある防災備蓄品を展示委員の方々に見ていただいた。

3 報告

(1) 進路状況について（支援進路部長 倉木より）

◇本校の進路状況や進路指導の取組みについて説明
（委員一同 その他特段の質問、意見なし）

(2) 『平成31年度学校経営計画及び学校評価』の進捗状況について

【学校全体に関して】 （校長より）

各中期的目標の各項目について進捗を説明。

【高等部に関して】 （准校長より）

各中期的目標の各項目について進捗を説明。

○プロジェクトチームが色々あるがそれぞれの人数はどの程度か。構成はどのようになっているのか。

概ね10名程度である。担当する首席を中心に各学部より数名ずつで編成されている。

○性に関する指導プロジェクトチームができたのは良い事である。保護者も悩むところであり当事者自身も相談するところが無い。そういったことを相談できる場ができたのは良いことである。

（委員一同 その他特段の質問、意見なし）

(3) 授業アンケートの進捗

今年度は実施方法を大きく変更した。前年度までは年1回全ての授業についてのアンケートを行っていたが、今年度より授業アンケートの趣旨を強めるために授業参観に参加された授業についてアンケートを行うように変更したことを説明。提出率の変化は大きかったが評価は概ね悪くなく、今年度よりご意見欄を追加したが、概ね肯定的なご意見が多く書かれていた。各ご意見は授業担当者へ還元し、授業改善に活かしている。今後2学期3学期での授業アンケートの結果をまとめ第3回の学校運営協議会にて報告する予定である。

○今回の変更は保護者が書きやすいように改訂をしたのか。参観に来られていない保護者の意見がどうなるのか。参観に来られる保護者が少ないとアンケートの信頼性が問題になるのではないか。

学校教育自己診断とは異なり、教員の評価にも関わるものであり、あくまでも授業を見ていただいて評価していただきたい。見ていない、分からないばかりの評価では意味が無い。今年度に関しては急な変更で一部の教科の授業参観になっている。来年度はなるべく多くの授業を参観していただけるようにする予定である。さらにご意見欄を追加し率直な意見を書いてもらえるようにした。いただいたご意見は教員へ直接渡すようにしている。

○ICT機器の拡充を府にも要望し進めているということであったが、PTAとしても一緒に要望していきたい。デジタルの教材とアナログな教材を用意する手間もかかる。運営委員会委員一同としてもぜひ拡充して欲しい。

授業で使おうにも足りない状況である。大変ありがたい。

○公開授業週間を作っているがどれぐらいの教員が見に行けているのか。

データとして調査はしていないが、小学部の低学年の先生方が児童が帰ったあとの時間に見に行ったりしたということがあった。授業がある中見に行くので多くの人数ではないのが実態である。

（委員一同 その他特段の質問、意見なし）

4 会長より協議のまとめ

5 次回連絡 令和2年2月の午前10時から、2時間を予定。